

地元の食材を使った独創的な出来ばえ

1月24日、安平町料理コンテストが町民センターで開催されました。第2次審査で11種類の料理が審査され、苫小牧在住の星野順子さんの「かぼちゃと黒豆のゼリー」が最優秀賞となり、賞状のほか安平町の特産品などがプレゼントされました。調理を職業とせず、安平町産の食材を使うことが条件。審査時間が長引くほど、いずれの料理も独創的で優れた出来栄でした。優秀賞は米川恵美子さん(安平町)と丹下美咲さん(苫小牧市)、特別賞は照井美保子さん(苫小牧市)に贈られました。



和やかな雰囲気の中、参加者が互いのレシピを紹介する調理風景



熱戦が繰り広げられたかるた大会

1月27日、早来町民センターで第20回胆振地域子ども会かるた大会が開催され、管内から小学生10チーム、中学生9チームが参加しました。選手たちは読み手の声に神経を集中。場内は一瞬静寂に包まれ、一つの試合に1時間以上もかかるほどの熱戦も繰り広げられました。この大会に向け練習を重ねてきた選手たちが木札を飛ばす光景を随所に見ることができました。優勝は小学生チームがむかわ紅の早乙女(むかわ町)、中学生チームはむかわ紅の昇竜(むかわ町)でした。

正直に話し、素直に謝る
法務省が進めている「社会を明るくする運動」として作文コンテストに追分小学校6年生の岡千尋さんが優秀賞を受賞し、1月24日に同校で表彰式が行われました。
岡さんは、作文の中で失敗したときは隠さずに話し、正直に謝罪することが大切と書いています。
そして、隠し事を持つっていると、心の中に不安な気持ちがいっつも残るので、素直な気持ちで謝るようにしたいと話していました。



賞状を持つ岡千尋さん(前列中央)



高橋知事と気さくに交流

知事とのふれあいトークで東胆振を視察した高橋はるみ知事が1月23日に安平町を訪問し、臨空工業団地の㈱ホクダイとぬくもりセンターに立ち寄りました。工場内では、従業員の説明を真剣に聞き、ぬくもりセンターでは町民と気さくに交流する場面も見られました。



ホクダイ㈱工場内で説明を受ける